



ライブラリー

2025.1

《令和7年1月23日発行》

福崎町立図書館 図書館だより No.117

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790
http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/library/

エッセイ本

2月28日はエッセイストの元祖とされているフランスのミッシェル・ド・モンテーニュの誕生日です。そこでこの日を『エッセイの日』としています。エッセイとは自分の考えや経験したことを、自由な形式で書いた文章のことです。今回は色々なエッセイ本を紹介します。



普段の生活でなんだか腑に落ちないこと、ゾツとしたことなどが書かれています。怪談と書名には入っていますが、ホラー要素はほぼないです。後半は著者の妊娠、出産体験が書かれています。かわいいのにちょっと不気味な挿絵もすてきです。

『怪談未満』
(三好愛 著 柏書房 914.6/ミ)



料理コラムニストの著者のエッセイ本です。料理以外にも普段の生活で思ったことなどが載っているのですが、とりあえず面白い！自分の文章に自分でつつこみを入れる、ほぼそんな文章で構成されています。

『おしゃべりな人見知り』
(山本ゆり 著 扶桑社 914.6/ヤマ)

魔女の宅急便の著者角野栄子さんが、日本の魔女、物語の中の魔女、絵の魔女など色々な角度から魔女を考察しています。さらに32年前に行った旅を振り返ってみたり、娘であるくぼしまりおさんとの対談も載っている盛りだくさんなエッセイです。



『魔女のまなざし』
(角野栄子 著 白泉社 914.6 /カド)

14人の作家さんがそれぞれ「朝」「夕暮れ」「午後11時」をテーマに書いた短編エッセイアンソロジーです。1つ1つが短いので読みやすくなっています。1冊で何人もの作家さんの作品が読めるアンソロジーおすすめです。



『とあるひととき』
(三浦しをん 他 著 平凡社 914.68/トア)

図書館カレンダー

※行事・イベントは変更や中止になる可能性があります。
※ は休館日です。

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 絵本読み聞かせ 講座②	5 えほんの じかん 11:00~	6 資料整理日	7	8
9	10	11	12	13	14	15 おはなし会 11:00~
16	17	18	19	20	21	22 子ども 映画会 14:00~
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 絵本読み聞かせ 講座③	5 えほんの じかん 11:00~	6 資料整理日	7	8
9	10	11	12	13	14	15 おはなし会 11:00~
16	17	18	19	20	21	22 子ども 映画会 14:00~
23	24	25	26 図書館 マイスター 10:00~	27	28	29
30	31					

図書館マイスター講座



3月26日(水) 10:00~
定員 10名(小学生)



- ・図書館クイズ
- ・本の装備体験
- ・図書館探検
- ・おはなし会

※予約が必要です。参加希望の方は図書館までお申し込みください。

図書館員おすすめ本

アフリカの小さな村の人々は、昔から「日本人が教える心」を大事にしてきました。物に溢れて、昔の人では味わえない贅沢をしている現代人はたして幸せなのか？何が幸せなのか？そしてなぜ日本から遠く離れたアフリカの村に日本の心が伝わっているのか？今一度本当の幸福とは何なのか考えさせられます。

『今日、誰のために生きる？』

(ひすいこたろう SHOUGEN 著 廣済堂 159/ヒ)



こどものほん

1・2年生 3・4年生 5・6年生

どうぶつ しゅやく ほん 動物が主役の本



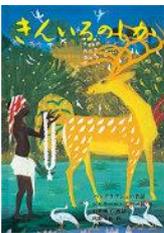
てぶくろをみつけたねずみはここにすむときめます。するとかえるにうさぎとつぎぎとどうぶつたちがやってきていれてといひます。ぎゅうぎゅうになったいくてぶくろさあどうなるかな？



『てぶくろ』(エウゲーニー・M・ラチョフ 絵)



ある国に金が好きなお王さまがいました。王さまはある時足もとのすなを金に変える金のしかをみつめます。このしかを手に入れたい王さまは少年にいけどりにしろとめいれいしますが……。金のしかと少年はどうなるでしょう。



『きんいろのしか』(秋野不矩 画)



黒うさぎのくるみくんは亡くなったおじいさんのパン屋さんを再開させます。息子のシナモンくんと、娘のレーズンちゃんもお店をお手伝い！さあ今日はどんなパンがお店にならぶかな？

『うさぎタウンのパン屋さん』(小手鞠るい さく)



犬神社の宮司さんは生まれる前はこの神社にいた白犬でした。人間を救った犬は人間に生まれ変われるのです。でも今神社にいる犬のシロは100年で七回生まれ変わっても人間にはなれません。どうしたら人間になれるのかな？



『人間になりたかった犬』(今西乃子 作)

今年は蛇年



2025年の干支は蛇です。蛇は脱皮をすることから「再生と繁栄」を象徴し、それが金運や富と結びつき金運上昇にご利益があるとされています。蛇の抜け殻を財布に入れておくとお金が貯まるとも言われています。こんなに縁起のいい生き物なのに、好き嫌いが別れる蛇。目がくりくりしていて可愛いと思いますが、お話の中では結構な悪役。人を襲って食べたり、暴れたり……。でも優しい蛇のお話もあります。悪い蛇、優しい蛇色々な蛇の本を読んで今年をスタートしてください。

『へびのクリクター』

(トミー・ウンゲラー 作)

文化出版局 E)



『たのきゅう 落語絵本』

(川端誠 作)

クレヨンハウス E)



図書館からのお知らせ

予約本について



予約本の準備ができれば電話かメールで連絡します。メールを希望される方はメールアドレスを登録してください。登録は図書館ですか、図書館ホームページからご自身で登録することもできます。ぜひご利用ください。

『やまたのおろち』

(赤羽末吉 絵)

岩崎書店 E)

